

埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

埼臨技研修会に参加して

6月30日、新型コロナウイルス感染拡大により3月から中止になっていた埼臨技の研修会が、今年度初めて行われました。そこで行われていた感染対策が今後の研修会の参考になるのでは？と思い報告いたします。

担当は一般検査研究班、会場は浦和コミュニティセンター、定員66名、事前予約56人に対し参加者53人、参加問い合わせがあった賛助会員2名を合わせ55名の参加者でした。事前予約なしで訪れる会員等はいませんでした。

まず受付前にアルコールでの手指消毒（研究班で購入）、体温測定（研究班で購入）、37度以上の参加者がいないことを確認し（37℃以上の参加者がいた場合は丁重にお断りをする予定であったがいませんでした）、受付業務を行いました。

受付時に事前予約があるか確認（ない場合はキャンセル待ちの形をとるため入り口で待機を予定）今回は参加者すべてが事前予約の参加者でした。事前予約の確認は日臨技システムの受付番号を聞くことで、スムーズに確認が行えました。写真は体温測定者がフェイスシールドをしています。装着していただくのは感染防止の面からは評価できますが、施設備品を流用してまでは求めません。装着する場合は研究班で用意をお願いしたいと考えます。

会員カードを用いての参加登録は、接触機会を減らす面からも有効で、参加時は持参していただきたく思いました。今年度から会員の参加費が無料になったことも接触の機会を軽減し、受付の効率化に繋がりました。

会場は定員の半数が求められていたので、3人掛けのテーブルで1列目は2人、2列目は1人・・・の形で椅子を配置しておりました。感染防止だけではなく、スラ



イドがとても見やすい結果もついてきました。写真を見ておわかりのように参加者はマスクをしておりますが、忘れた参加者用にマスクも研究班で用意しておりました。ちなみに全員マスク着用での参加でした。

講演者はビニールシート越しに講演を行っており飛沫防止対策を講じておりました。テープで簡単にとめたためか、途中で剥がれてしまいましたが、対策に感謝いたします。

初めてのCOVID-19対策をとった研修会ではありましたが、個人的には大変満足のいく対応と思えました。事前の用意、対策を講じ研修会を運営した一般検査研究班の皆様感謝申し上げます。

以下に同研修会の報告書を掲載いたします。

(文責：猪浦一人)

研究班の研修会報告を致します。

テーマ 明日から役立つ尿検査！「基礎編」

主催 一般検査研究班

実施日時：令和2年6月30日 19時00分～20時45分

会場：浦和コミュニティーセンター 第15集会室 点数：基礎教科－20点

講師：藤村 和夫（埼玉県済生会川口総合病院）

参加人数：会員53名 賛助会員2名

出席した研究班班員：藤村和夫 室谷明子 小関紀之 柿沼智史 佐々木菜緒 渡邊裕樹
中川禎己 小針奈穂美

研修内容・感想など

尿検査は無侵襲検査であり、病気を推測するために広く利用されている。尿には食事や運動、薬剤などにより様々な成分が排泄され、これらの影響で検査結果に偽りの情報が加わることが多い。そこで今回の研修会では、尿検体の取り扱い方、時間経過による検査結果の影響、試験紙法における各項目の原理や意義、薬剤による偽反応、尿沈渣成分の鑑別方法、尿定性検査と尿沈渣検査の乖離など、広範囲にわたる内容で、藤村氏にお話していただいた。

患者の臨床情報（性別・年齢・依頼科・薬剤など）をはじめ、採尿方法や採尿時間など、より多くの情報を得ることで尿定性結果の偽反応に気付いたり、尿沈渣検査に出現している沈渣成分の推測につながる。このことが、効率的で精度の高い検査を実施することを可能にすると学んだ。また、藤村氏の施設では、医師や多職種と合同に行われる勉強会が定期的開催されているとお話があった。私の施設では以前より、臨床の先生方は、試験紙法で検査を行っていることは知っていても、偽反応については知らないことがうかがえた事例を、何度も経験している。今回の研修会で情報共有する場を設けることの重要性を再認識できた。

今回、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除後の今年度初めての研修会であったが、ソーシャルディスタンスを確保した上で開催できたことを嬉しく思う。手指消毒や検温など多少の混乱が予想されたが、非常に円滑に研修会が開催できた。一日も早い終息を祈るばかりである。

(文責：室谷明子)

第48回 埼玉県医学検査学会のお知らせ

開催日：令和2年12月6日(日)

会 場：大宮ソニックシティ

テーマ：躍動

サブテーマ：～『技』と『業』の融合～



学会公式LINE
アカウント

「COVID-19禍中 演題登録いただきありがとうございました。
一般演題、学生演題、CM演題の発表形式が変更になります。」

第48回埼玉県医学検査学会
実行委員長 小野口 晃

昨年11月から現在までに10回の実行委員会が開催され、若手会員の皆さまにもベテラン会員の皆さまにもお楽しみいただける学会の開催を目指し、学会のテーマ「躍動 ～『技』と『業』の融合～」に沿った学会企画、内容が決まってきたところであります。

7月15日の演題の締め切りをもちまして、今年的一般演題、CM演題併せた演題数は75題となり、COVID-19禍中登録いただきありがとうございました。また、賛助会員様には協賛のご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。

今年度の学会開催にあたりCOVID-19の感染拡大の状況を踏まえ、実行委員会、理事会、関係者の皆様と慎重に協議を続けてまいりました。今学会に登録していただいた演題と様々な企画を無にしないために、一般演題、CM演題の発表形式を通常的口頭での発表からポスター発表へと変更させていただくことといたしました。すでに通常開催通り準備を進めていただいていた関係者の皆様には、ご迷惑とご不便をおかけいたしますが、感染拡大防止のため、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、今年は3密を防止するために、学生の参加を見送らせていただき、参加者の事前登録を行わせていただきます。2020年11月1日(日)～12月4日(金)の期間にweb公募490人+郵送募集10人、合計500人で締め切らせていただきます。詳しくは埼玉県臨床検査技師会ホームページでご確認ください。

さらに、今後の関係各省の見解次第では、学会開催につきましても検討させていただく可能性がございます。進捗状況は本学会のホームページ等にて随時お知らせいたします。

12月6日の学会が安全に開催され、有意義で記録と記憶に残る学会となるよう、実行委員一同一丸となって努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**令和2年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第6回 理事会議事録**

日時：令和2年7月9日(木) 19時00分より

場所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席：(理事) 神山 松岡 猪浦 小山 濱本
長澤 山口 神嶋 菊池 松尾
伊藤 笹野 塚原 松寄 石井
神戸 長岡 久保田 長谷川
飯野

(監事) 遠藤 細谷

欠席：(理事) 矢作 阿部

本日の理事会の出席者は22名であった。理事の出席者は20名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告 (令和2年6月11日～令和2年7月8日)

6月11日(木) 令和2年度第4回理事会：

神山、矢作、松岡、小山、濱本、山口、猪浦、阿部、奈良、小島、神嶋、菊池、長澤、伊藤、濱田、笹野、石井、神戸、久保田、細谷、遠藤

6月12日(金) 令和2年度定時会員総会：

神山、岡田、矢作、松岡、小山、濱本、山口、猪浦、阿部、奈良、小島、神嶋、菊池、長澤、伊藤、濱田、笹野、石井、神戸、久保田、遠藤

6月12日(金) 令和2年度第5回理事会：

神山、矢作、松岡、小山、濱本、山口、猪浦、阿部、神嶋、菊池、長澤、伊藤、笹野、石井、神戸、久保田、飯野、塚原、長谷川、松尾、松寄、遠藤

6月19日(金) 第48回埼玉県医学検査学会

第8回実行委員会：

猪浦、石井、神嶋、菊池

6月19日(金) 事務局部会：

神山、小山、濱本、長澤

7月3日(金) 第48回埼玉県医学検査学会第9回
実行委員会(Web会議)：

猪浦、石井、伊藤、神嶋、菊池、飯野

7月4日(土) 令和2年度第1回事業部会：

伊藤、笹野、塚原、松寄、長澤、矢作

7月4日(土) 日臨技理事会：神山

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

- 1) 6月19日(金)、事務局部会を開催した。
- 2) 事務機能の整備として、ナンバーディスプレイの契約、電話機の更新、WI-FIの増設を行った。
- 3) 6月19日(金)、日臨技より日臨技感染防止対策ガイドラインが送付された。
- 4) 6月20日(土) 日臨技定時会員総会が開催され、神山会長が日臨技理事、関甲信支部長に就任した。
- 5) 6月23日(火)、法務局へ役員変更登記申請書を提出した。
- 6) 6月25日(木)、日臨技に新型コロナウイルス感染症に関連する研修の都道府県衛生主幹部局との連携についての調査ファイルを回答した。
- 7) 6月30日(火)、公益インフォメーションに令和元年度事業報告を提出した。
- 8) 埼玉県臨床検査精度管理専門員に神山清志氏、荻野毅史氏、武関雄二氏を推薦した。
- 9) 令和2年度公衆衛生事業功労者表彰について埼玉県に推薦書を提出した。
- 10) 7月1日(水)、日臨技よりフェイスシールド100枚が送付された。
- 11) 7月2日(木)、法人登記が完了した。

2 総務部

- 1) 「埼臨技だより」第494号7月15日(水)発行予定
- 2) 埼臨技会員名簿7月15日(水)発行予定
- 3) 埼臨技会員名簿の研究班員名簿について一部欠落があり、正誤表で対応する。

3 事業部

- 1) 5月1日(金) 埼臨技・臨床検査技師養成校連絡協議会(メール会議)を開催した。
- 2) 7月4日(土) 令和2年度第1回事業部会を開催した。
- 3) 深谷市健康福祉まつり開催中止の連絡があった。
- 4) 全国糖尿病週間糖尿病無料相談会開催中止

の連絡があった。

- 5) 令和2年度蕨市健康まつり開催の可否について回答した。

4 学術部

- 1) 7月15日(水)、埼臨技会誌Vol.67 No.1 2020が発行される。

- 2) 2020年度編集委員会の遺伝子部門に以下の委員を追加した。

編集委員：松岡 優

(埼玉医科大学病院)

編集査読委員：飯野 望

(埼玉医科大学保健医療学部
臨床検査学科)

- 3) 研究班に非接触式体温計を購入し、研修会参加者への体温測定を実施するよう通達した。マスク、アルコール消毒液等も適宜購入するよう合わせて通達した。

- 4) 埼臨技ホームページに研修会参加者への留意事項の掲載を行った。

- 5) 7月1日(水)、日臨技総合情報システム(JAMTIS)の学術権限取得者を以下とした。

継続 神山 清志

継続 猪浦 一人

継続 山口 純也

継続 濱本 隆明

継続 長谷川 隆

新規 長岡 勇吾

新規 久保田 亮

- 6) Webセミナー開催手順の研修会を積水化学株式会社に依頼した。

(開催日時：7月16日18時より)

5 精度保証部

特になし

6 会計部

- 1) 令和2年度正会員費49名245,000円、入金金40名40,000円 合計285,000円の入金があった。

- 2) レンタルPCの発注を行った。A4ノート1台、B5ノート1台、サーフェス5台で794,387円支払った。当初、支払は月毎であったが数料等削減のため年払いとした。なお、被貸与者は、誓約書を提出することとする。

- 3) レンタルWi-fi機器1台の発注を行い、2年間分88,220円支払った。

- 4) 石井印刷へ、埼臨技だより第493号印刷代56,848円を支払った。

- 5) 昨年度退会会員の会費2名返金を行った。

7 精度管理委員会

- 1) 埼玉県医師会臨床検査精度管理委員会委員名簿について報告された。

8 一都八県会長会議

- 1) 7月11日会議予定。

9 日臨技関甲信支部

特になし

10 日臨技

特になし

11 第48回埼玉県医学検査学会

- 1) 6月19日第8回実行委員会を開催した。

- 2) 第48回埼玉県医学検査学会の名義後援依頼書の発送を行った。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(令和2年度分)

令和2年7月1日現在

会員数 3,198名[令和元年度会員数3,144名]

(新入会員 147名)

賛助会員 67社[令和元年度 81社]

承認された。

- 2) 令和2・3年度 理事の役務について

上記の件について、小山事務局長より発言があり、審議の結果、承認された。

- 3) 令和2・3年度 各種委員会委員について、6月12日付けで委嘱を行うこととした。

上記の件について、小山事務局長より発言があり、審議の結果、承認された。

2 総務部

- 1) 埼臨技だより、“あとがき”の担当を全理事、持ち回りで担当する件について

上記の件について、山口総務部長より発言があり、審議の結果、承認された。

3 事業部

特になし

4 学術部

特になし

5 精度保証部

特になし

6 会計部

特になし

7 精度管理委員

特になし

8 第48回埼玉県医学検査学会

- 1) 7月15日一般演題締め切り日延長のお知らせに、日臨技システムでの一斉メールを使用したい。

上記の件について、神嶋学会担当理事より発言があり、審議の結果、承認された。

2) 埼玉県医学検査学会の開催の可否の件について

上記の件について、神嶋学会担当理事より発言があり、審議の結果、新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑みて開催の可否について理事会の判断とすることが承認された

案説明があり、審議の結果、1)、2)について承認された。

2 事務員夏期賞与について

上記の件について、小山事務局長より発言があり、事務員1名の賞与について承認された。

IV. 議題

1 事務局

1 業務執行理事（副会長並びに常務理事）の選定について

定款第22条2項の定めにより、副会長並びに常務理事の候補者を以下の通り提案する。

1) 副会長

矢作強志、松岡優、猪浦一人 副会長の序列は記載順とする。

2) 常務理事

事務局長：小山博史、事務局次長：濱本隆明、事務局次長：長澤英一郎、総務部長：山口純也、事業部長：伊藤恵子、会計部長：石井直美、学術部長：長岡勇吾、精度保証部長：阿部健一郎

上記の件について、神山会長より、議

2 総務部

特になし

3 事業部

1 日臨技 全国検査と健康展 埼玉会場開催の可否について

上記の件について、伊藤事業部長より発言があり、審議の結果、今年度の開催について中止とすることで承認された。

4 学術部

特になし

5 精度保証部

特になし

6 会計部

特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

あ と が き

Ceux qui vivent sans faire d'erreurs ne sont pas si intelligents.

フランス語に・・・

「間違いをせずに生きるものは、それほど賢くない。」ということわざがあります。

間違いや失敗をして、絶対に叱られたくない。と思う人がほとんどではないでしょうか？それはそうですよね。私もそうです。

でも、「間違い、失敗しない」ことは本当にいいことなのでしょうか？

「間違い、失敗しない」それは新しいことに挑戦していないことではないでしょうか？

人は新しいことに挑戦して、進歩や成長をする。

「間違い、失敗」は成長の可能性を意味する。

「間違い、失敗」は全ての始まりなのである！

何歳であっても、何歳になっても学ぶべきことが沢山あり、限りなく挑戦することが本当に賢いのでは・・・

(埼臨技総務部長 山口 純也 記)

次号の「埼臨技だより」より

「あとかき」を全ての理事が持回りで担当いたします。個性が感じられる「あとかき」を楽しみにしててください。

